

遠い親戚から
預けられた娘は
人を惑わせる
魔眼の持ち主
だった…。

魔眼に狂わされた
男に次々襲われる
哀しい宿命の顛末は？

蠱惑・柑橘



MULTIVITAMIN PRESENTS FOR ADULT ONLY



靈感柑柑

成人向





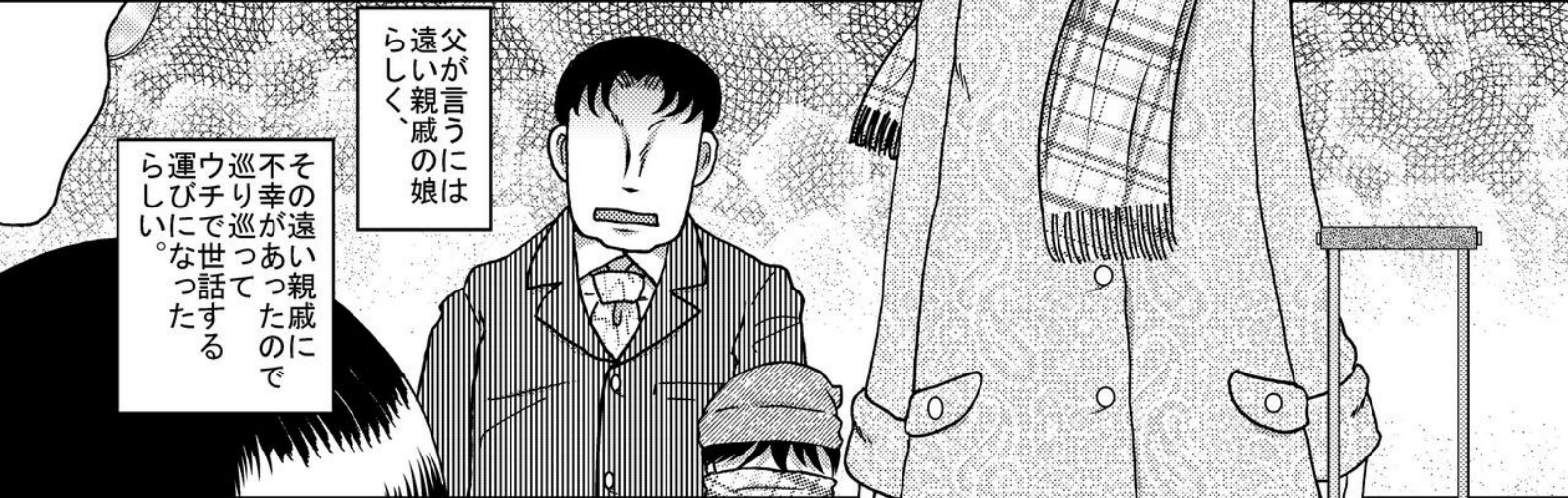
一年半前…

あれは確か

今、振り返るに…



突然父さんが家に女の子を連れてきた。



父が言うには遠く親戚の娘らしく、

その遠い親戚に不幸があつたので巡り巡つて話する運びになつたらしい。



歳はボクと同じだった。

姉になるのか妹になるのか？

…まあ、そんな些細な事はさておいて



彼女の名は
鷺森 瞳。

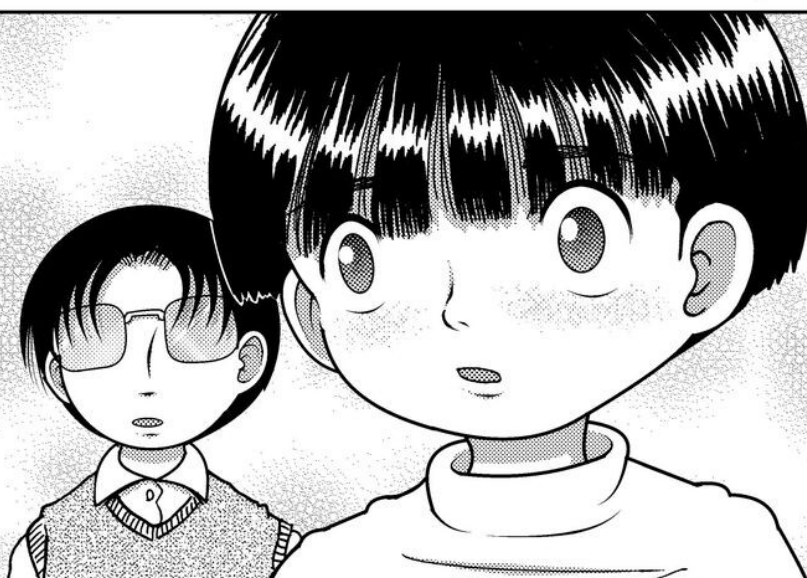
これより
暫くの間、



突然増えた
新しい
「家族」と



ボクらは
生活を共に
すること
になった。





父さんには言わなかった
前の家は色々とあつた
心的なとかか
とかで、か

まあ、詮索
はいない
と感ずいた。



突如始まった
新しい家族
団欒。

これといった
問題も発生
しなかった
のだが...

瞳は殆ど
喋る事は
無かつた。



じつと見ると
吸い込まれ
怪しい目玉だ。

瞳はなんとも
不思議な
ことだ。

いや、そんな
過去の詮索
の気になつた



瞳はボクと
同じ学校に
通つた。

で、数日後
同じ事だ

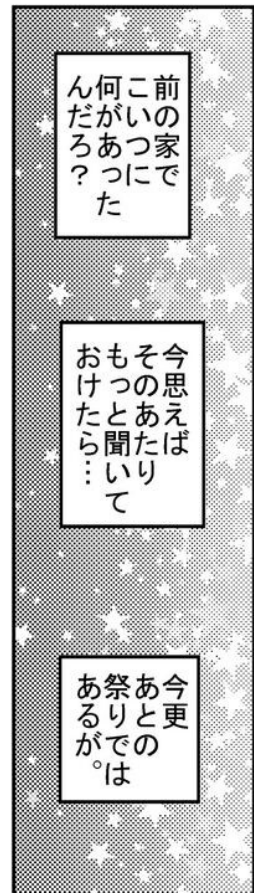
5



先生に遠慮
なく聞か
なうに大丈夫

解らない事
が

すぐに
慣れる。



前の家で
何があつた
んだらあつた

今思えば
そのあたり
もつと聞いて
おけたら...

今更
あとの
祭りが
あるが



それ以外
至つて普通
の礼儀も
申し分ない。



おん？あ、
おやすみ。

ほぼ会話が
無い点を
除けば。

近く成金が

.....



わわわわ
わわわわ
わわわわ
わわわわ

まあ、気軽に
省悟に尋ねて
みるといい。

省悟、
瞳の助けに
なるんだぞ。
男だろ？

……



通学路より
大通り側が
近いから
交差点で、次の

学校の道は
まっすぐを



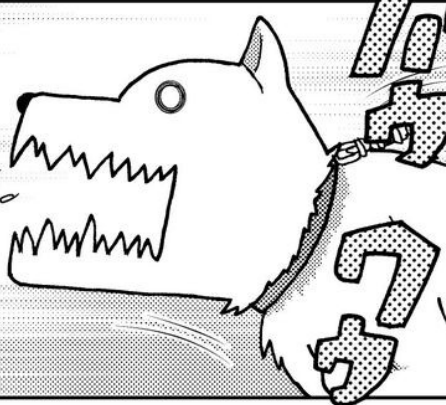
……

……



うわっ
おめーか！

ビクバク
犬な！



しかも洋鳴きか。和犬のクセに。



見境無く
吠え倒す
ヤツだから
気を付けて

こいつは
この酒屋の
飼犬で

ネットボール
がカリリと
噛んでる。



はい？



がんばんな
ボウズ

バカ犬
ジグゾー!

怖がんな
泣かないよ



びびる
こたあ
よっつて

しやあ
なあ

犬ゾーン
過ぎたら
手離せよ



犬CV・森山周一郎(希望)



……



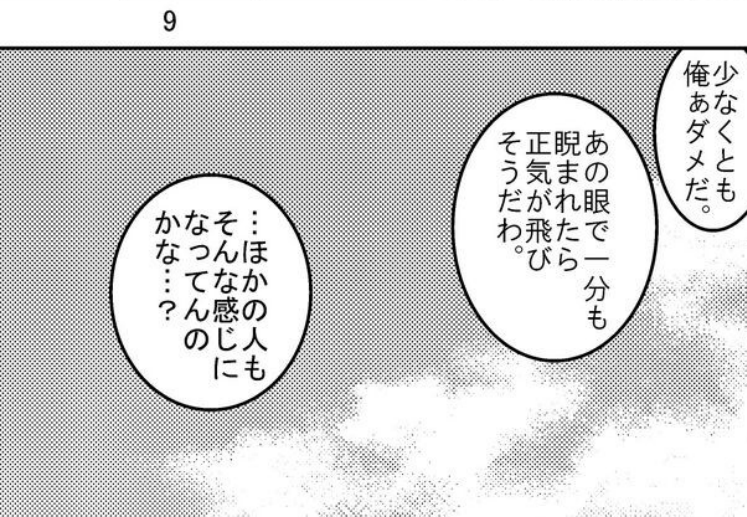
今日から
皆さんの
クラスに
メイト
なります

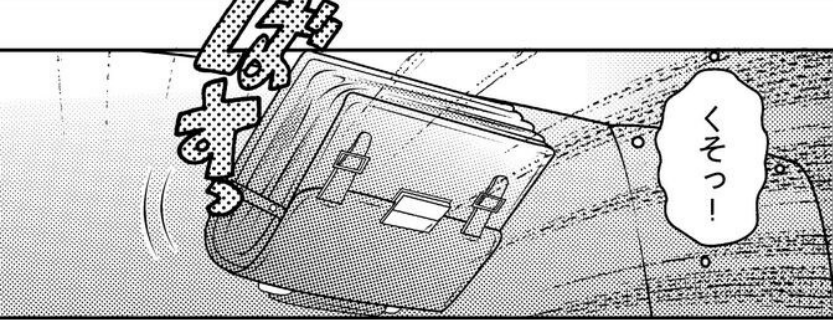
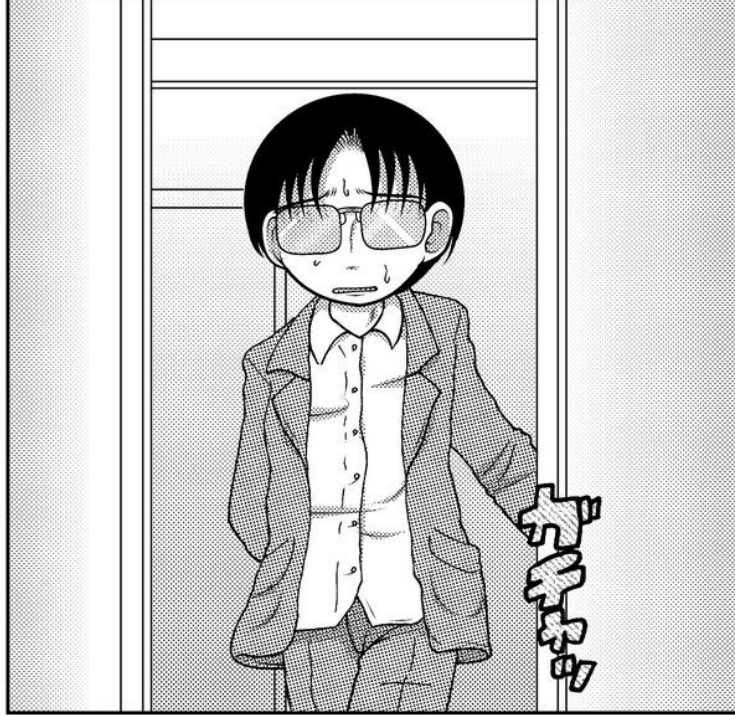
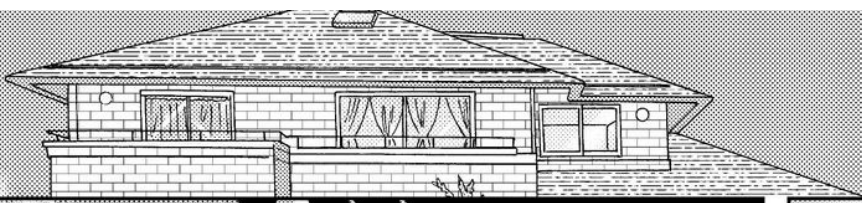
静かに!



鷺森
さん
です

皆さん
お願
い
く
ね





大体は察してはる。

いや...

あれだ...

偏差値的に明らかな届かない...

秋から冬の間に何が起きたか?...

こんな事じゃ志望校の変更を指示されちゃう...

秋期の模擬試験ではトツたん5だぞ!

そんちがも30上げる位!

だんで...



脳みそが
吸い取られ
感じて...

あの眼...

あの眼を
見ちまうと
引きずり
こまされ
みてえに...



勉強が頭
に入らな
くまっ
た。

思えば
これから

瞳が
来たら
だよ...



その眼で
俺を見る
なああ
ああッ!

うがああ
あめろあ
やおっ!
おあ



なんだ
このイ
ツメ?
マジ

俺は何を
...?

ああ...



はあ...

はあ...



あ...?



これは何だ…？

これがあなたのかい？

俺の深層心理で渦巻いてる俺の欲望…？

願望の欲求にCPUが占有されてて…

他の事を考えるメモリまで取られてるのか？

クラッシュしてるわ…

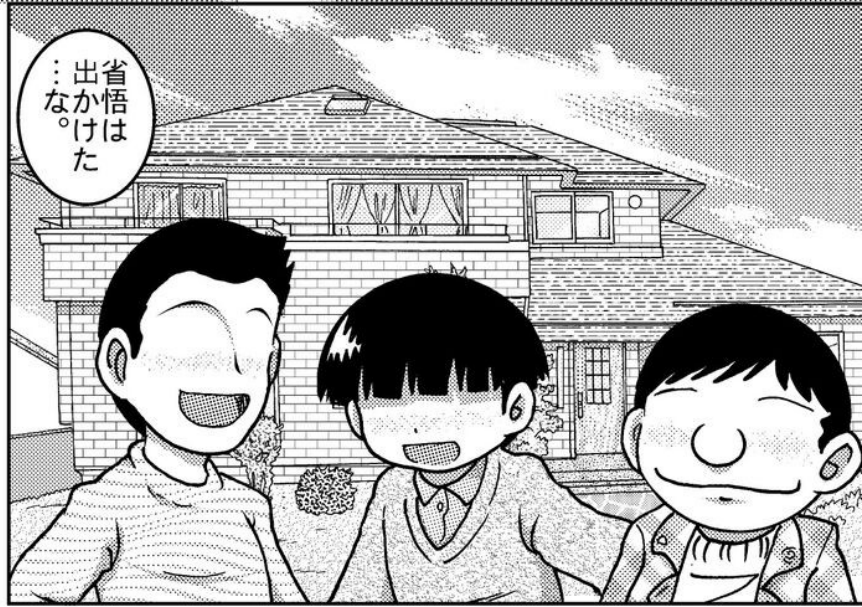
…だめだ。

俺はもう…

やべえ多分間違い無い。

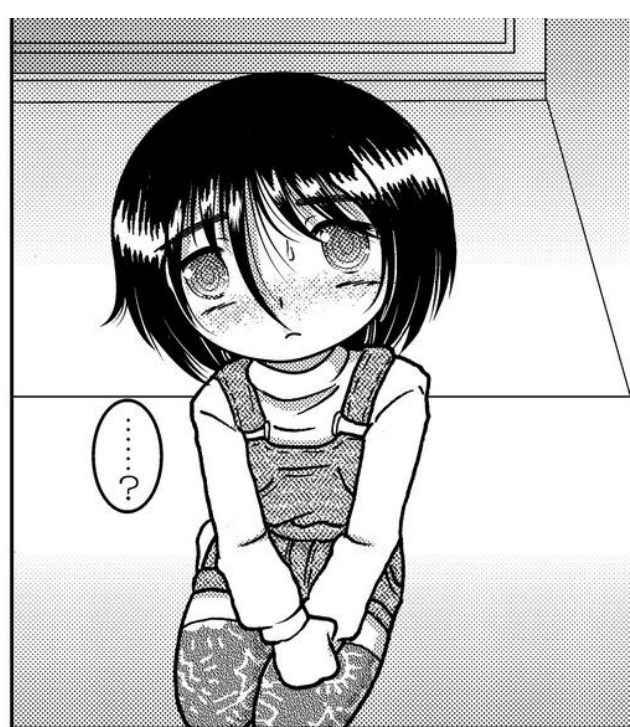
…あ、

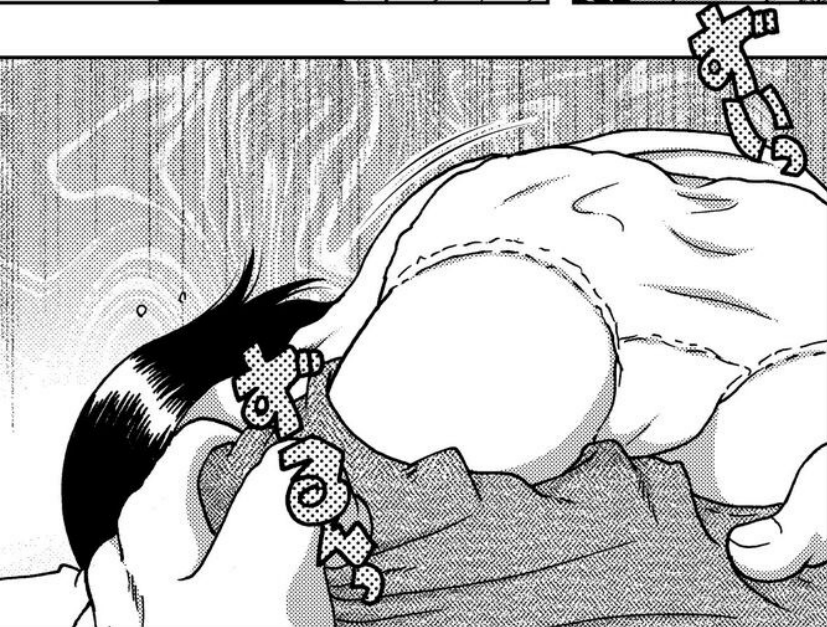
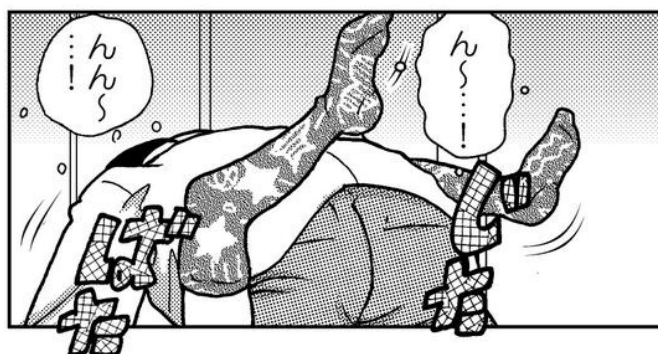
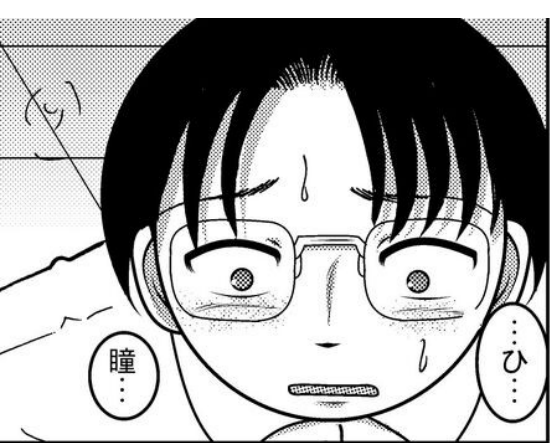
— 数日後 —



13



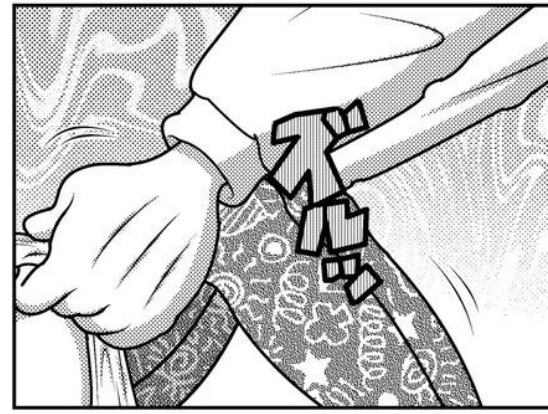
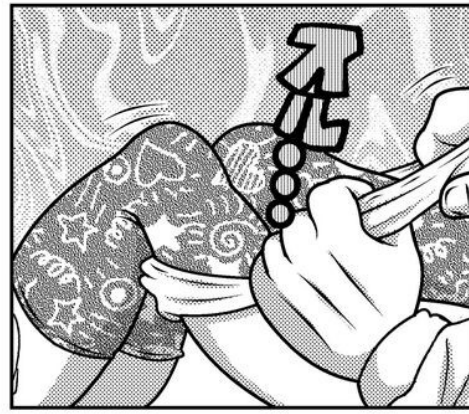
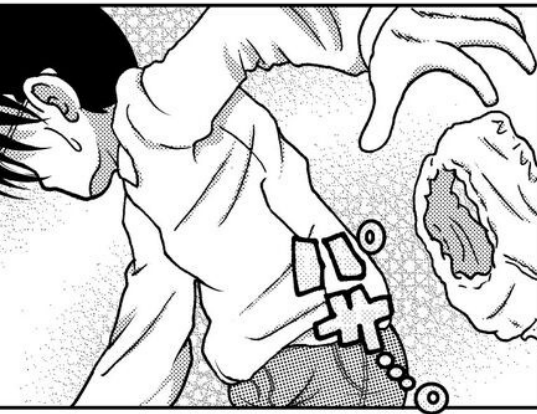
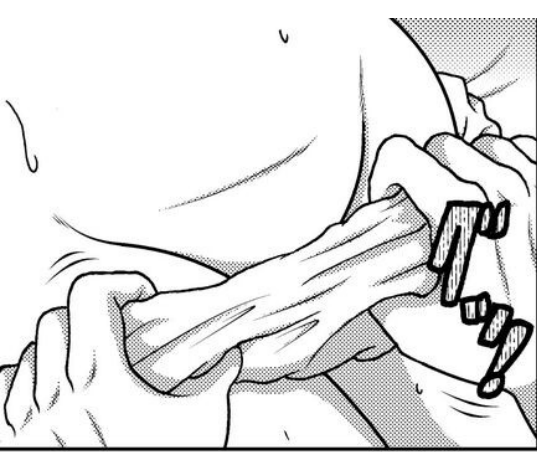




15

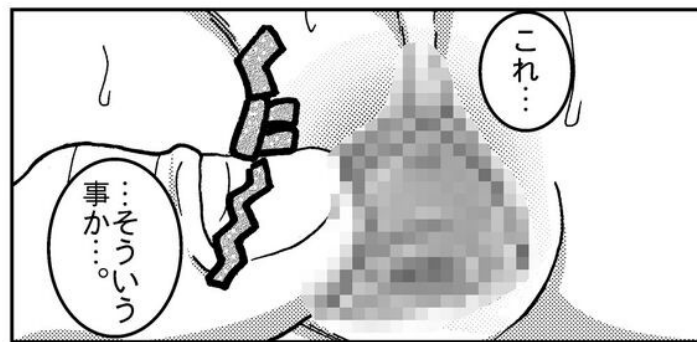
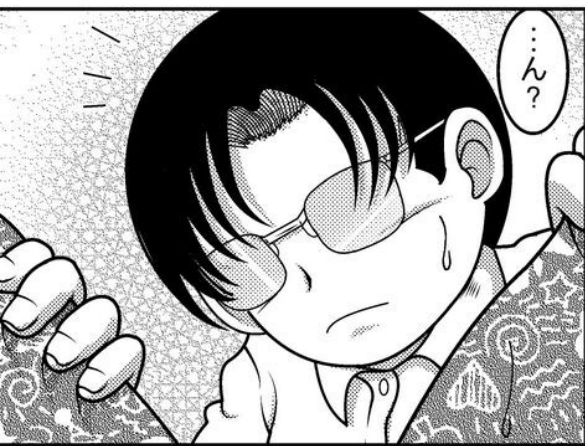


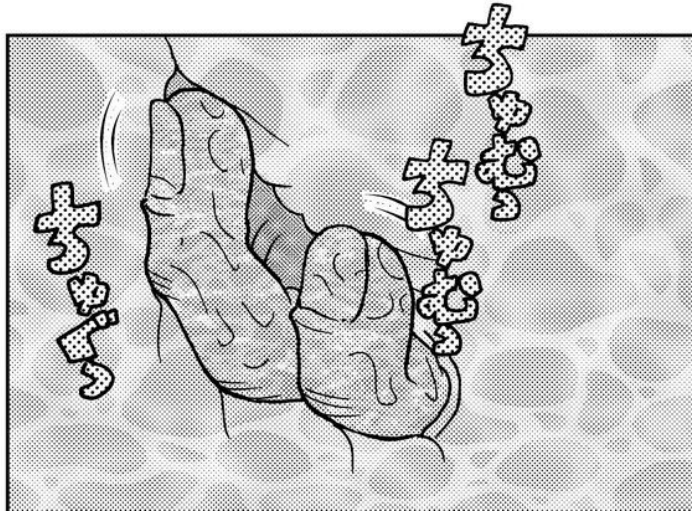
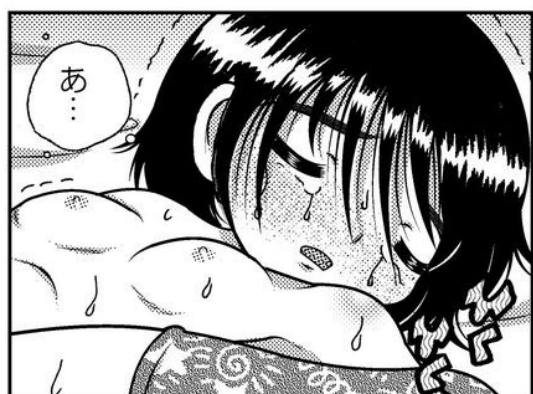
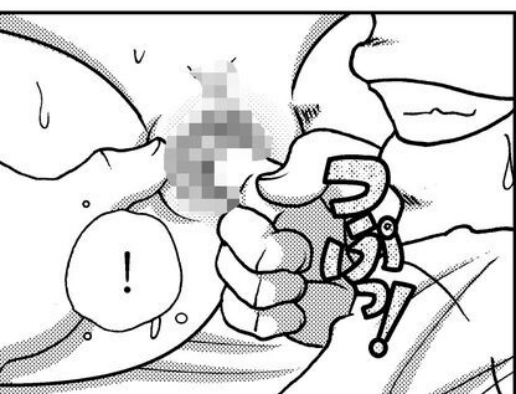




17









前の家でも
やったこと
あんだろ？

知ってらねえ
ついでにハズ
だ無いな？



俺のほうを
整えてくれよ。

ほら。

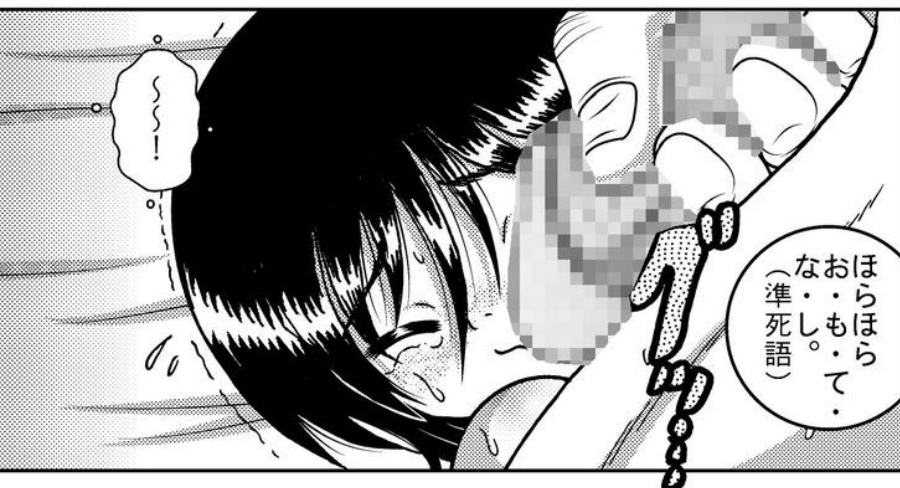


お前のほうの
準備は整った
ようだな。

っ。



じゃあ
次は…

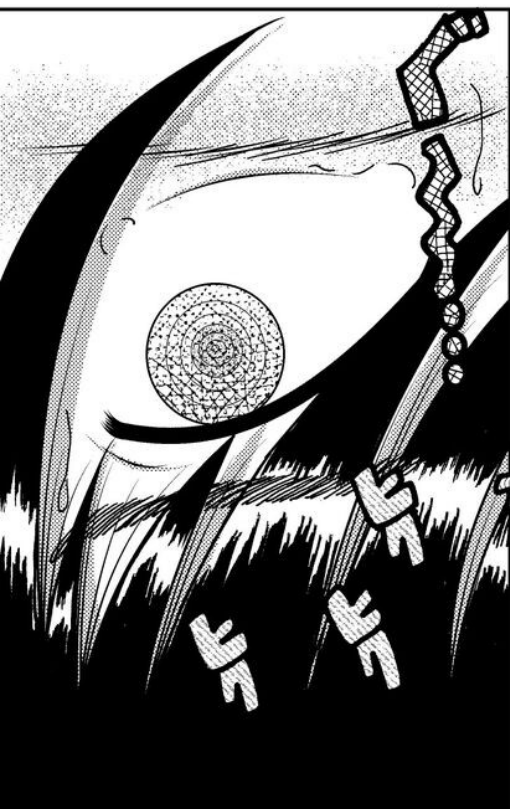


ほらほら
お・も・ら
な・し・て
(準死語)



ほら
口開ける。

こっち側も
潤してくん
なきやイカ
んですよ？



言う事
聴いかな
悪娘はい

その報いを
受けてねえ
ないわ



…ほお。

拒否する
のね。

なら
仕方がない。



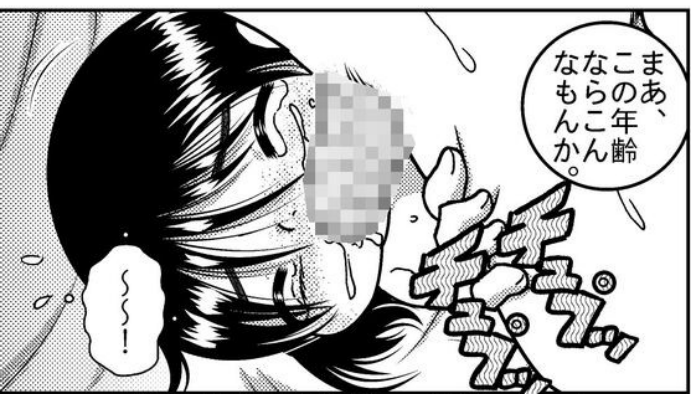
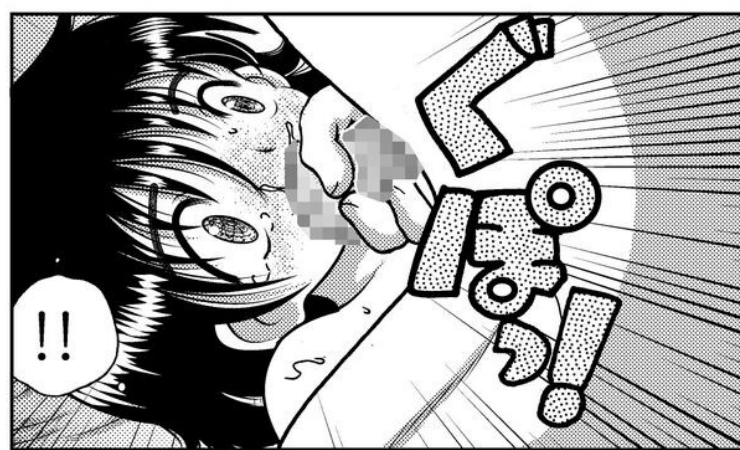
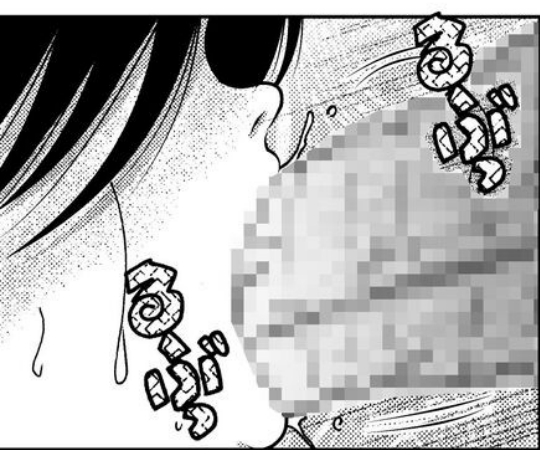
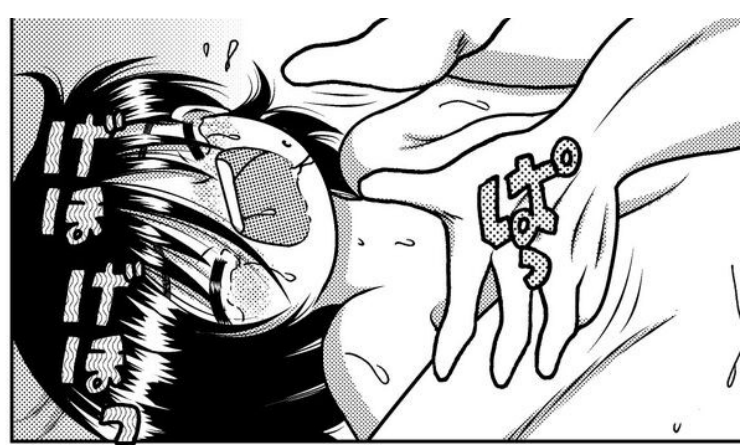


ほらほら
舌も
仕事する！



ほら、
結局
結舌え
ない。
んだ
じゃ

つたく
ホントに
無駄な
好きな
娘抗の
だ。



まあ、
この年
齢
なら
こんな
か



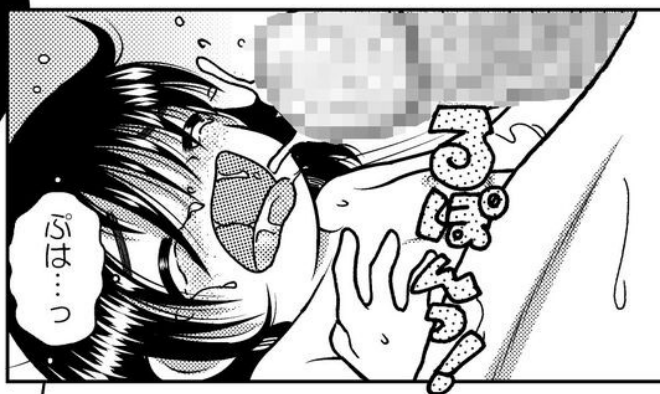
口の中
暖か
なくて
イ
な
あ

もつと
テク
欲し
いが
けど

それ
では
醒
める
な

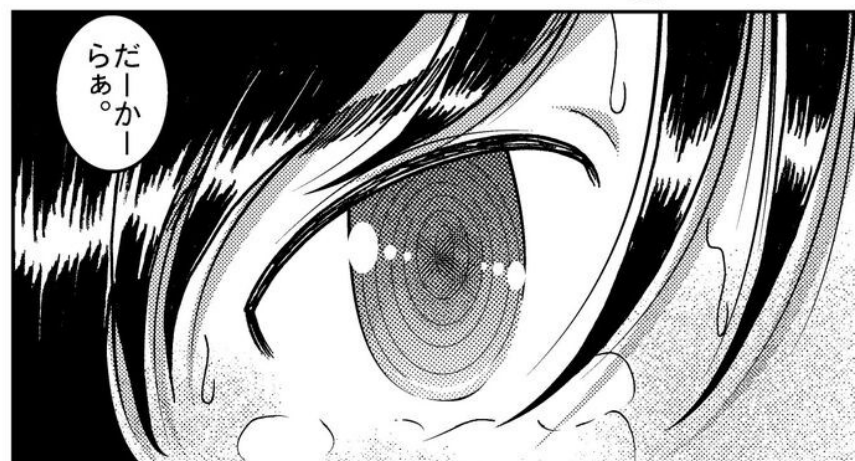
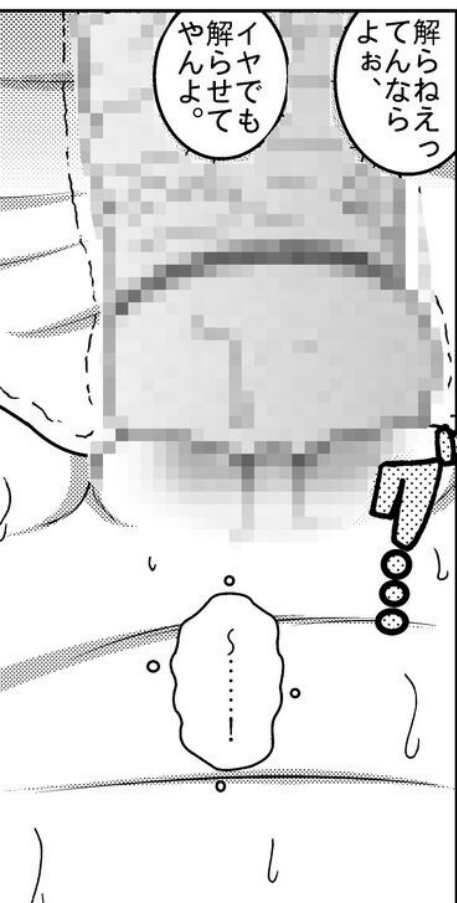
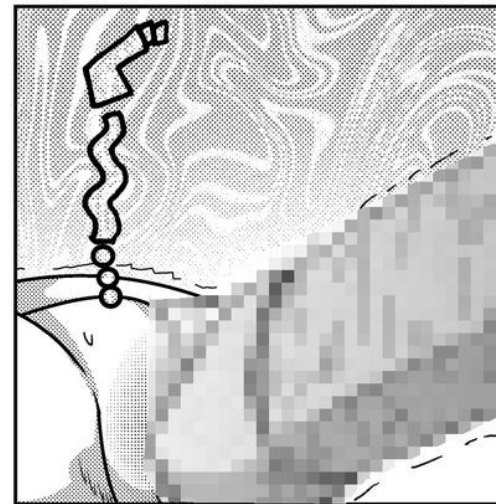
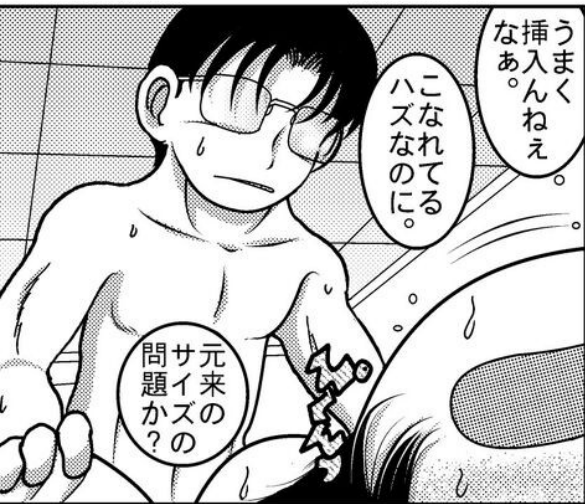


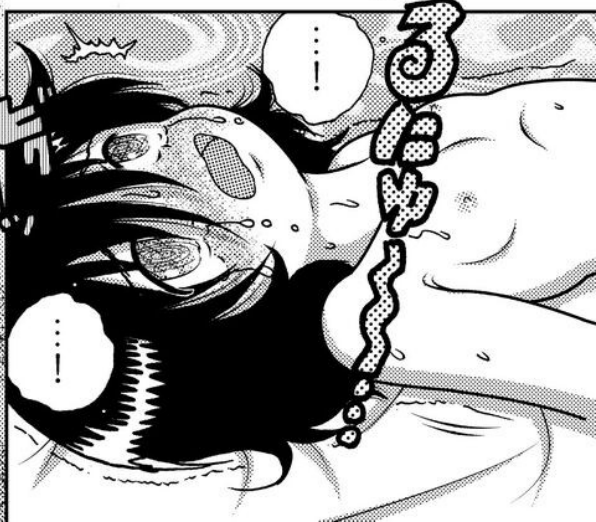
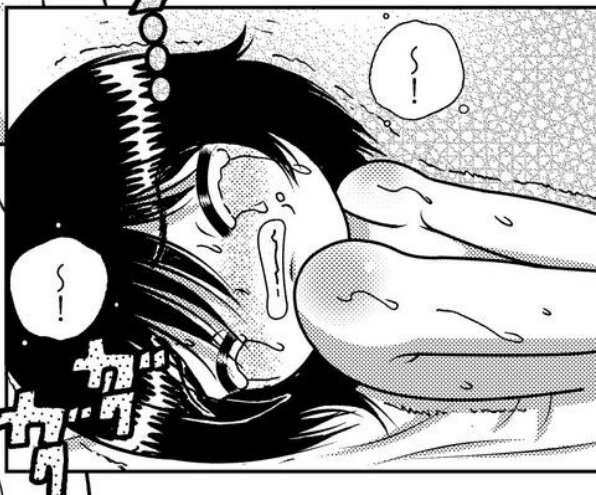
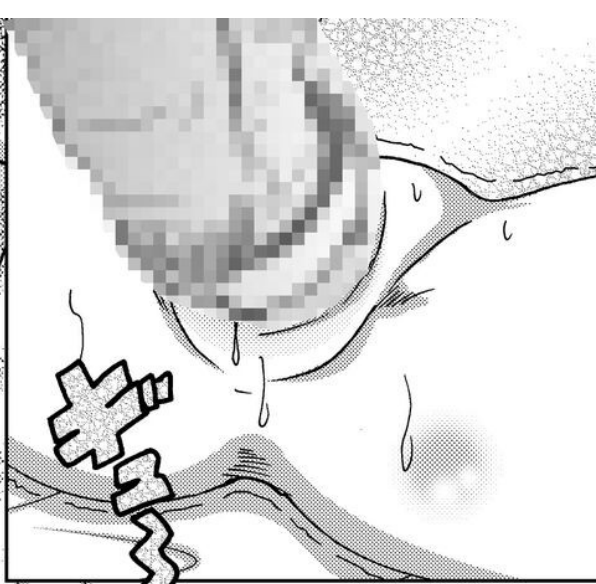
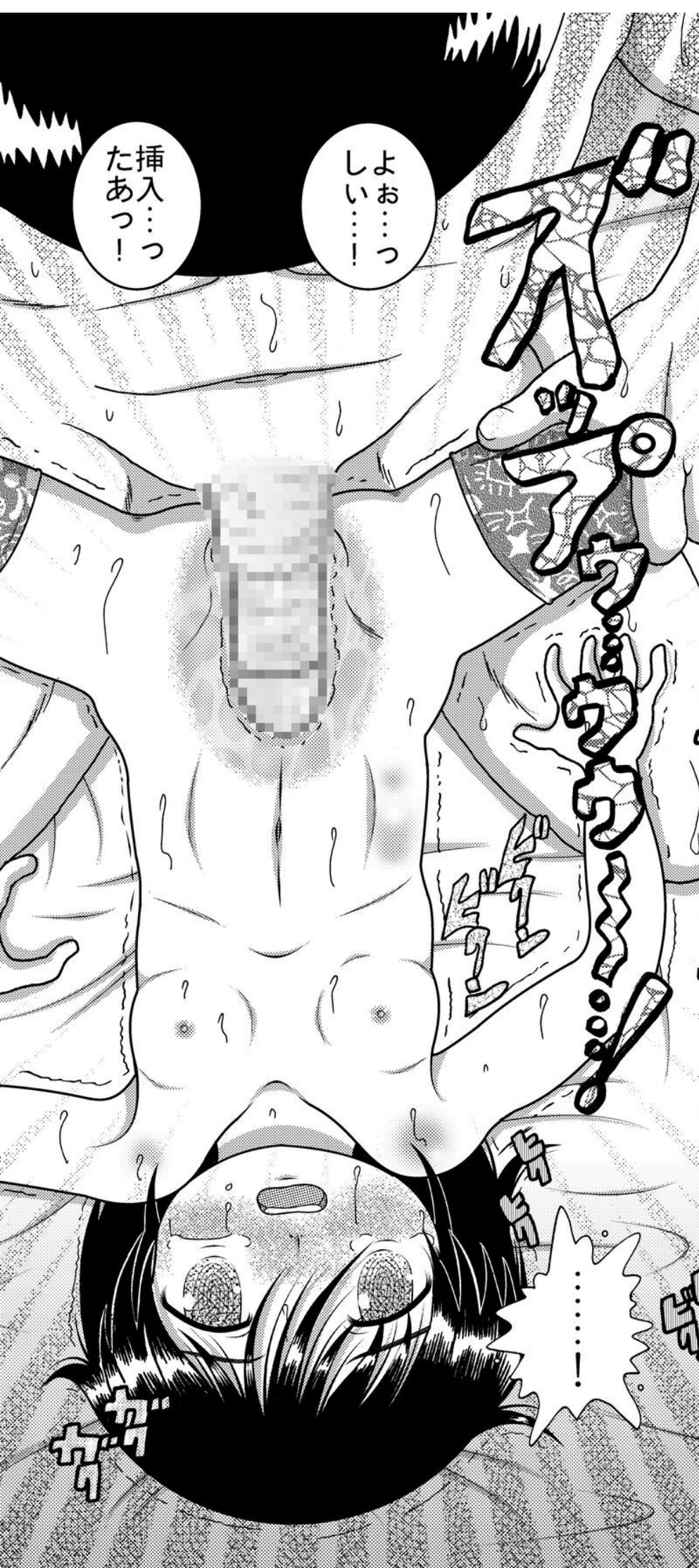
さっさと
やる
コト
やり
まし
よう



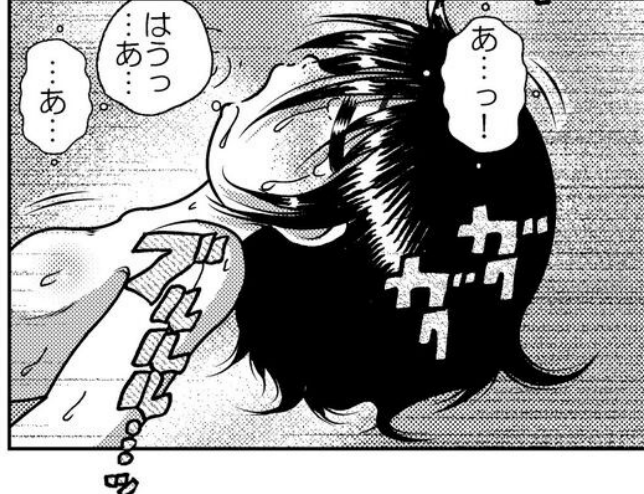
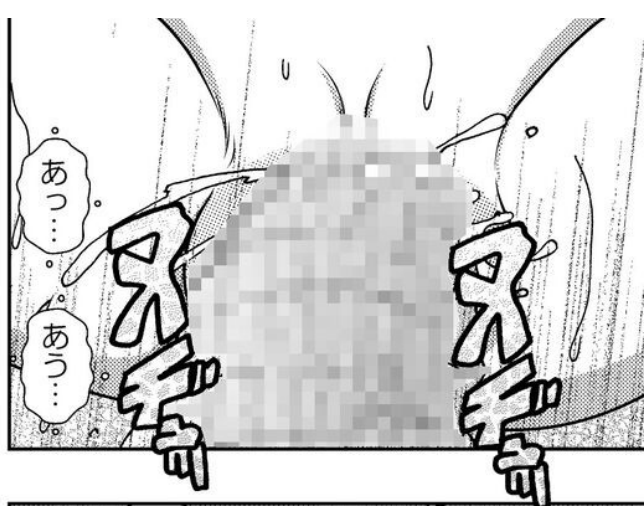
さて、
お互
い
まし
た

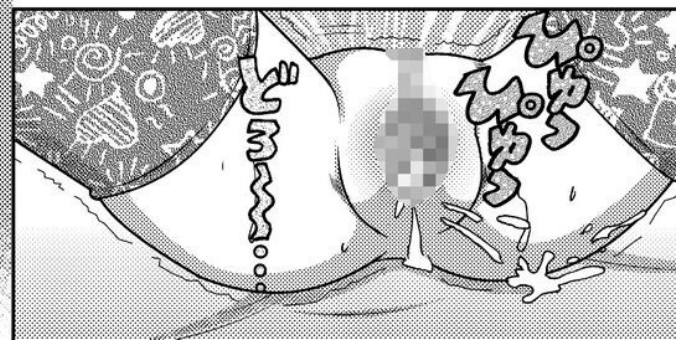
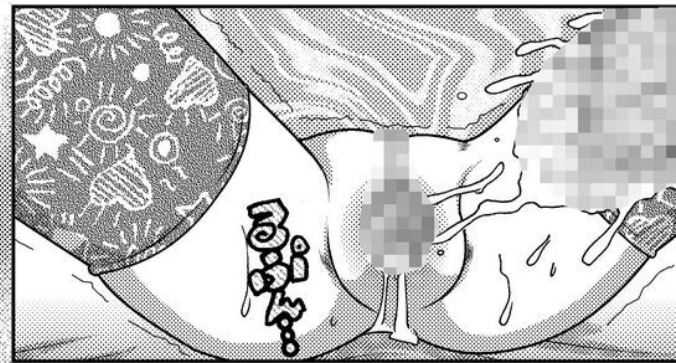
それ
では
い
い
時間
も
だ
し
い

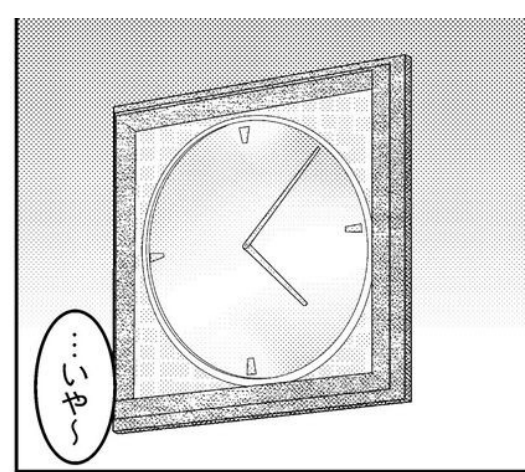












前の家の
奴等も
相当ハマった
んだろうな。

俺も中毒に
なりそうなの
具合だった。

思いのほか
良かったか
ぞ。

お前素質
あるんじゃない
ねえの？



お前も
良かった
だろ？

気持ち良さ
げに頬を
赤らめて。

普段出ない
ような声量の
声出して。



お前を引き
取る親戚が
他にあるか？

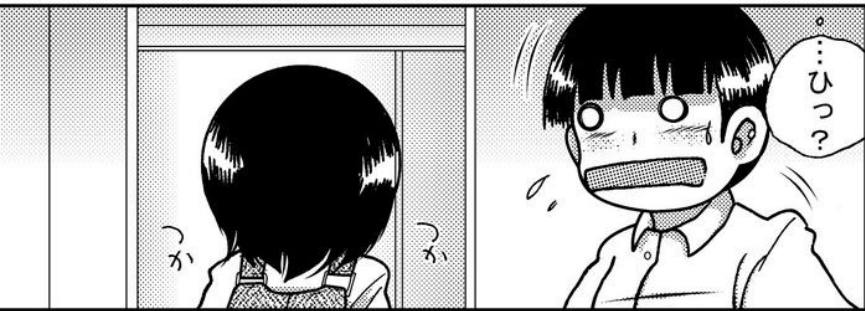
疫病神と
仇名される
お前をよお。

今日の事
も親父に
言いつも
りか？

お前、ここ
に住めなく
なるけどな。

...っ！

何かないか
お伊。



：意味のない
：のだけどもう
：なっただけ

実際気付いて
手を差し伸べて
いたとして

当時のボクに
力があつたか？

：結局ボクは瞳に
手を差し伸べ
る事が出来なかつた



今思えば
この時の瞳の
霧気は付いて
ボクは気がだ
よるかも知れ
ない。

瞳は眼で
ボクに訴え
ていたのだら
う。

あの時
手を差し伸
べた後、
状況は変わ
った。



なんの
眼だ。

なんか
ゾクッと
きた？



全体的に
諦観という
漂う層が

この日を境に
瞳の様子が
変わった。

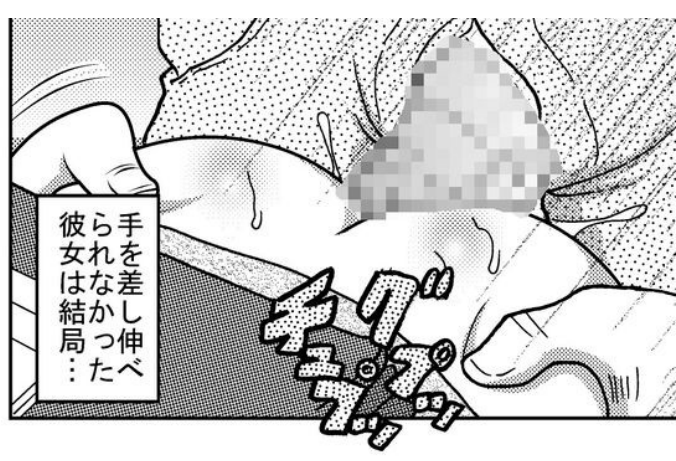
加えて
妖しい感
も強くな
っていら
した。



その後の、定期的性的に兄の口を担わされた。

……

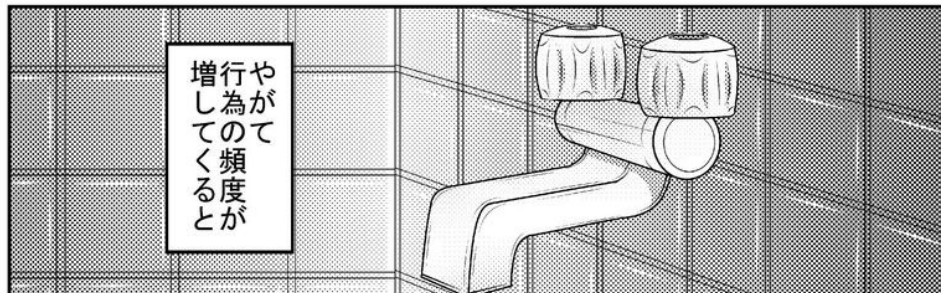
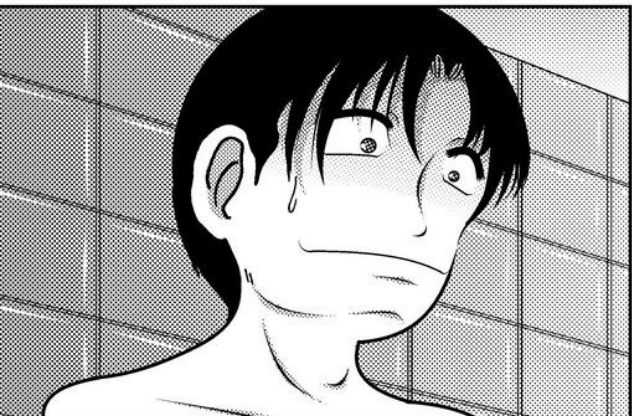
父やボク、目を盗み、それは狡猾に行われた……



手を差し伸べられなかった彼女は結局……



うあ……



やがて頻度が増してくると



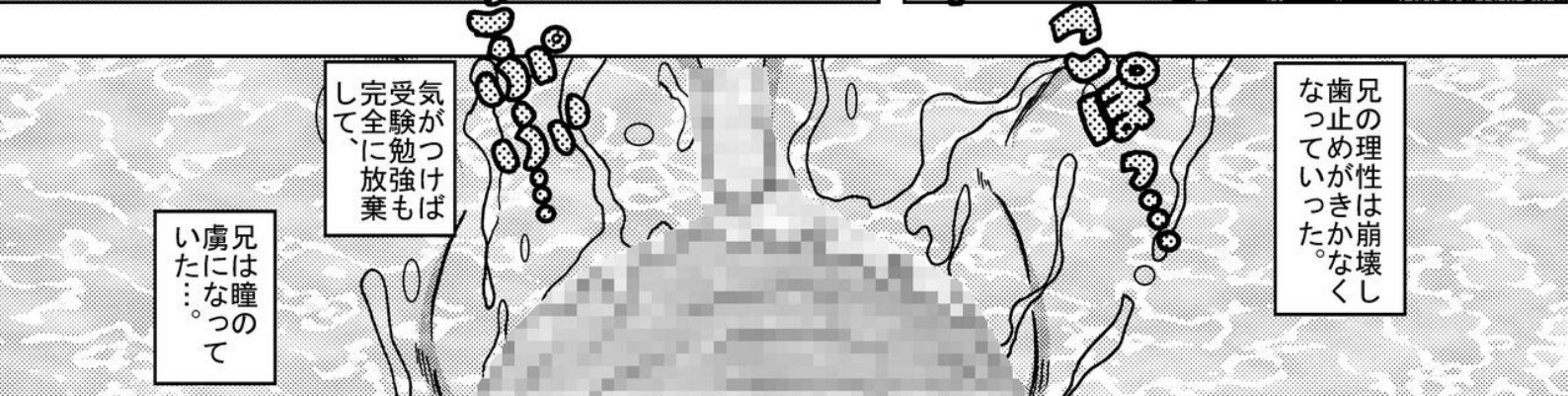
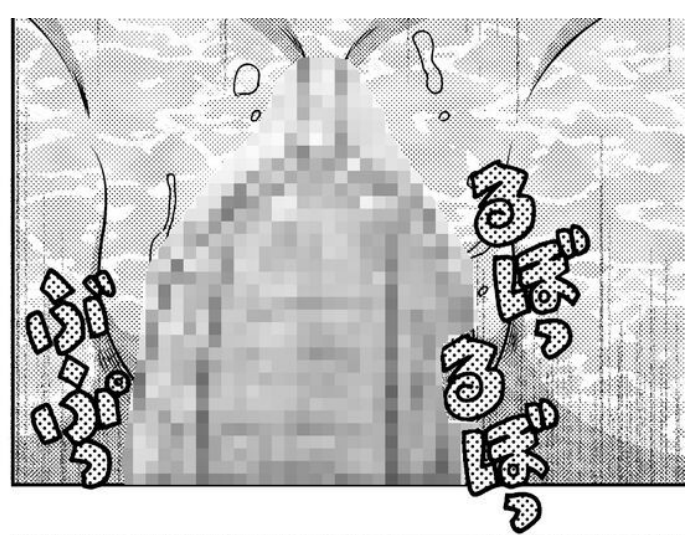
カッ



……



もはや関係なく、場もなかった。





返事して
やれよ。

今なら
イヤらしい声で
返事出来んぞ。



しゃあねえ。

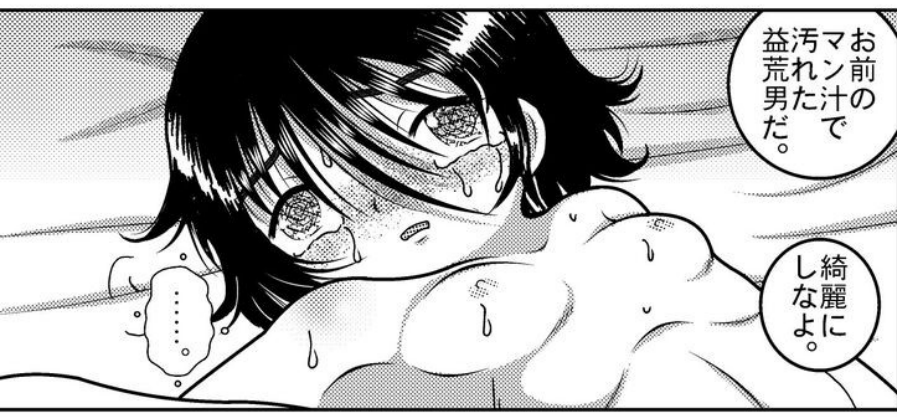
ああ、でも
思い当たらない
なあ。

友達ん家でも
行ったか？



おい。

省悟が
お前の事
探してるぜ。



お前の
マン汁で
汚れただ。
益荒男だ。

綺麗に
しなよ。



…まあいいか。

ほら
起きろ。

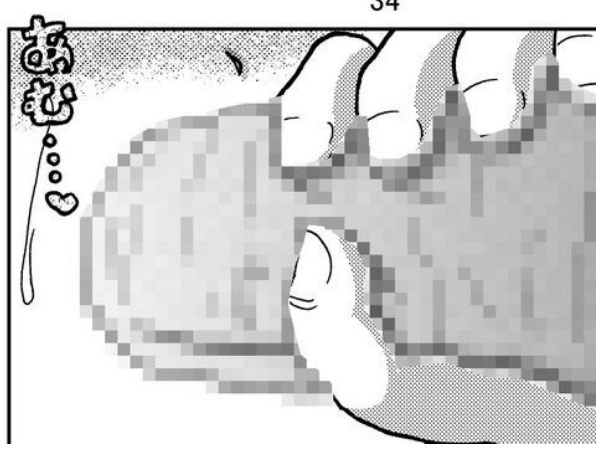
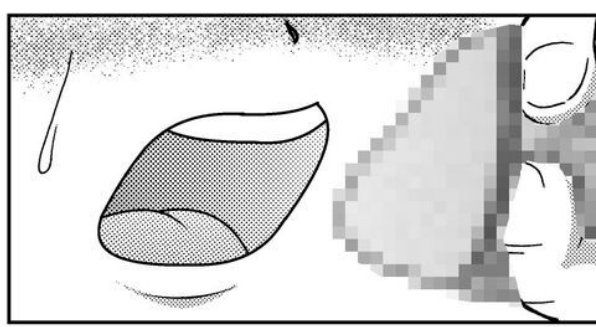
後始末
タイム。



そうそう。

段々
コツを
掴んで
きたな。

前主人
より
イケんな
教員
俺って。





見ほれっ。

余計な汚れちゃ
ねえか。

あ……

あ……



ばっか
やろう……オイ



お前
過ぎ
だろ。

そんな
巧いと……

綺麗に
するど
るか……



罰として
顔と
パツク
精液

あ……



加減の無い
技術向上
の考えな
モンだ。

そんな
無自覚な
お前には



もう一段階
行ってみ
つかに

新しいお前
が覚醒す
かもよお?

へっへ……



嬉しいよ
お前。

やればだけ
やれるだけ
上がつるな。



まるで
リアル育
成だ。

俺だけ
育てるの
は

そろそろ
限界だ。

それは全てが崩壊した日...

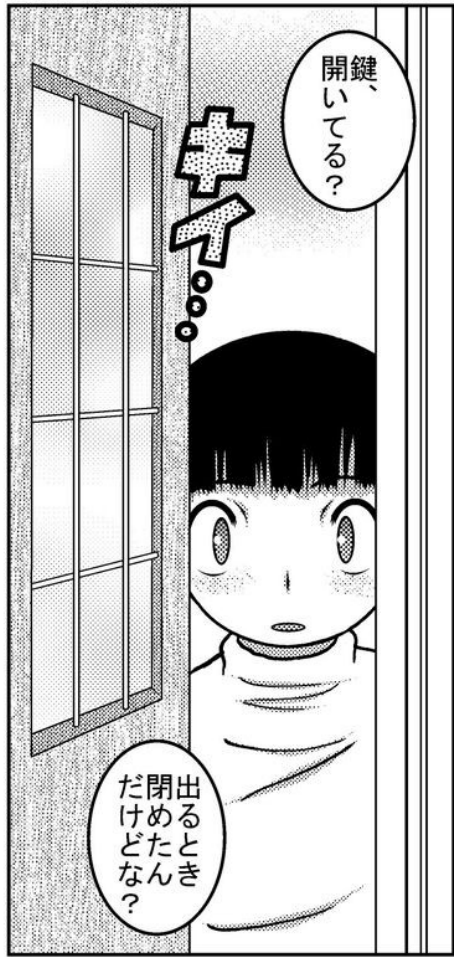
ついにボクは知っている事と

そんな兄の暴挙が、臨界点を超えて...



山こいつの靴だ
法事かよ?

...ん?



鍵、開いてる?

キーン...

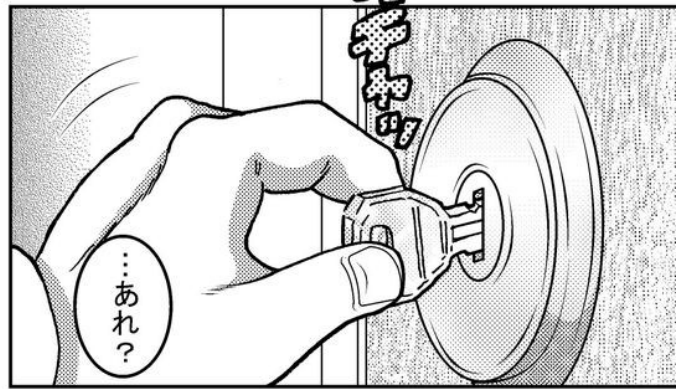
出るときだけだかな?



急遽、取りに家に帰って...

その日は一度外に出たものを、忘れてしまっ

ガオーマイ

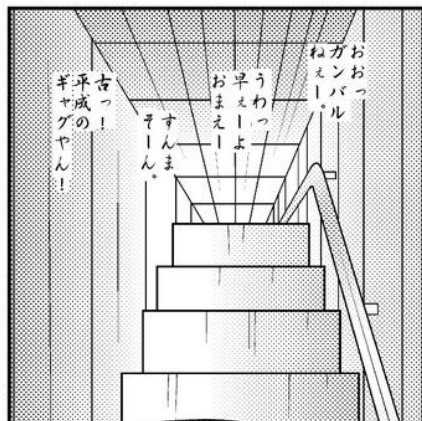


...あれ?



部の瞳の部屋から?

おまえもうらよつと粘れ粘れつー
いやはや、20歳のモンスター

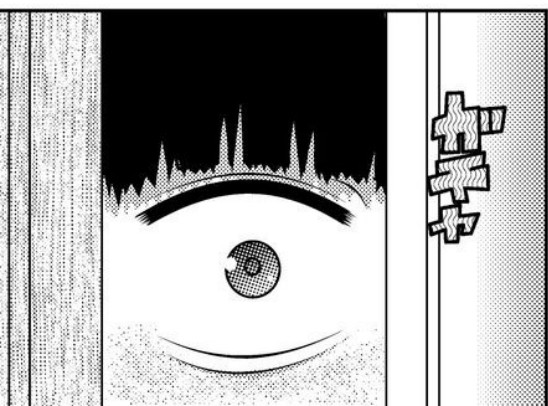


おおっガンバルねえー
うわっ早えーよおまえー
すんまそーんま
古っ! 平成のギヤグヤん!



兄貴の出かて無いか?

兄貴の靴だ。



キーン...

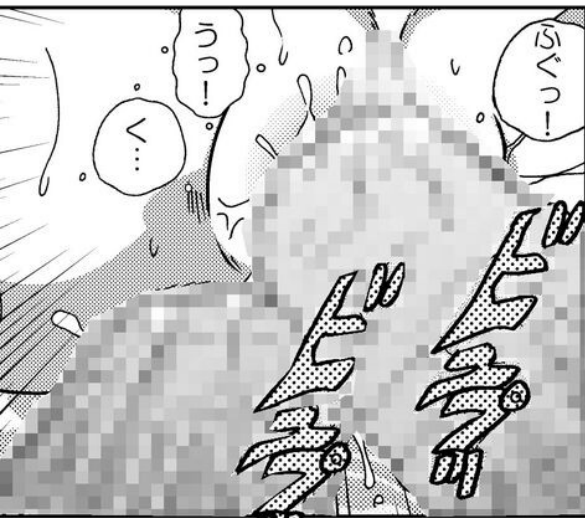


...なんだ?
...さわがしいな。



とりあえず早く戻らないとつ。

まあいい、んなこと。



金で買えない
貴重な体験
感謝しない

イヤイヤねえ
腫ちゃんに
みんなんに
鍛えられて

お兄さん方も
腫ちゃんの方
為に貴重な
聖水進ませ

次誰か
行く? また
石橋か?
それとも
内田か?

すぐ行けよ
休む暇を
与えるな!

おおうっし
出た出た

この中では
腫ちゃんが一番
の若手だから
頑張りな

はあ...

うわあ...
あ...あ

ほらほら
負けるな
腫ちゃん

あ...
あ...

あ...は...



あつあつ...あ

あつあつ

うあつ...

ぽんぽん

はい。コンプレクション

あつあつ...



折檻もイイけど後がつかえ

チエンジよろし

まあ、待てそう焦らずとも

おおっ、キタキタウエーグナ

あつあつ



あつあつ



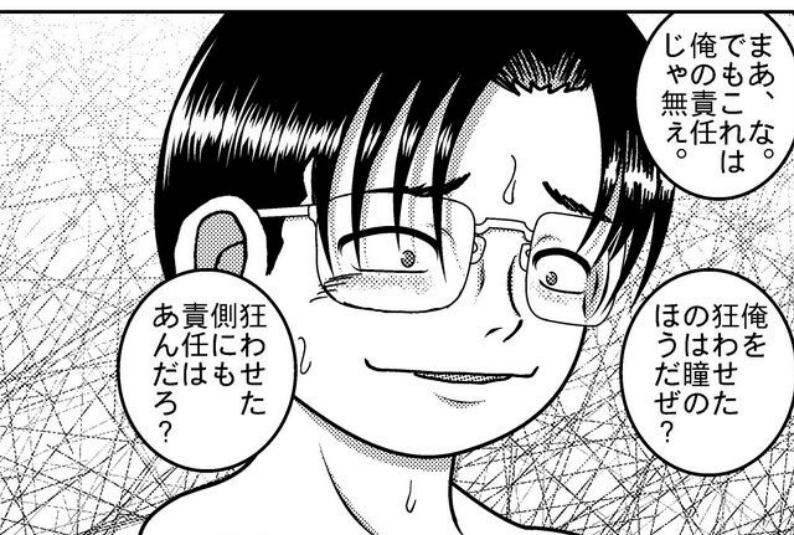
どっちでもさいか。冷めぬうちに

焼きたてでイキよたうが

来た来た焼きたてほかほか



あつあつ





あぁ...

あぁ...

それ、俺今、
じゃねえ、
そこ



いいじゃない。
身内の話で。

なにやら
家族会議の
ようですな。

他人が
割って入る
なんざ
無粋だよ。



ほれっ、
スタちゃんも
アイ。

穴兄弟の
盃の手伝いを
しますかね。

あ...



へえ、
面白いね。

どうやら
弟さんが
帰って来た
みたいだね。

仲間
入ろうって
のか。



実の兄弟が
穴の兄弟に
なるって
とか。

健悟の
野郎
トんでん
なあ。

それじゃあ
俺らも...



おっと、急に抵抗始めたね。

弟くんに痴態を流石に恥ずかしいか。

今更恥ずかしく全部見えてしまった。

かばかば

さっさっ!!

さっさっ!!



……!



……あ……



マジで恥ぢたいんだね。

女心って複雑だね。

さっきまで隠すどころか大股広げたの。

……

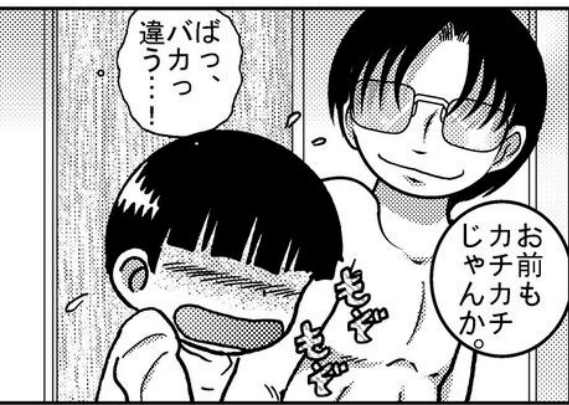


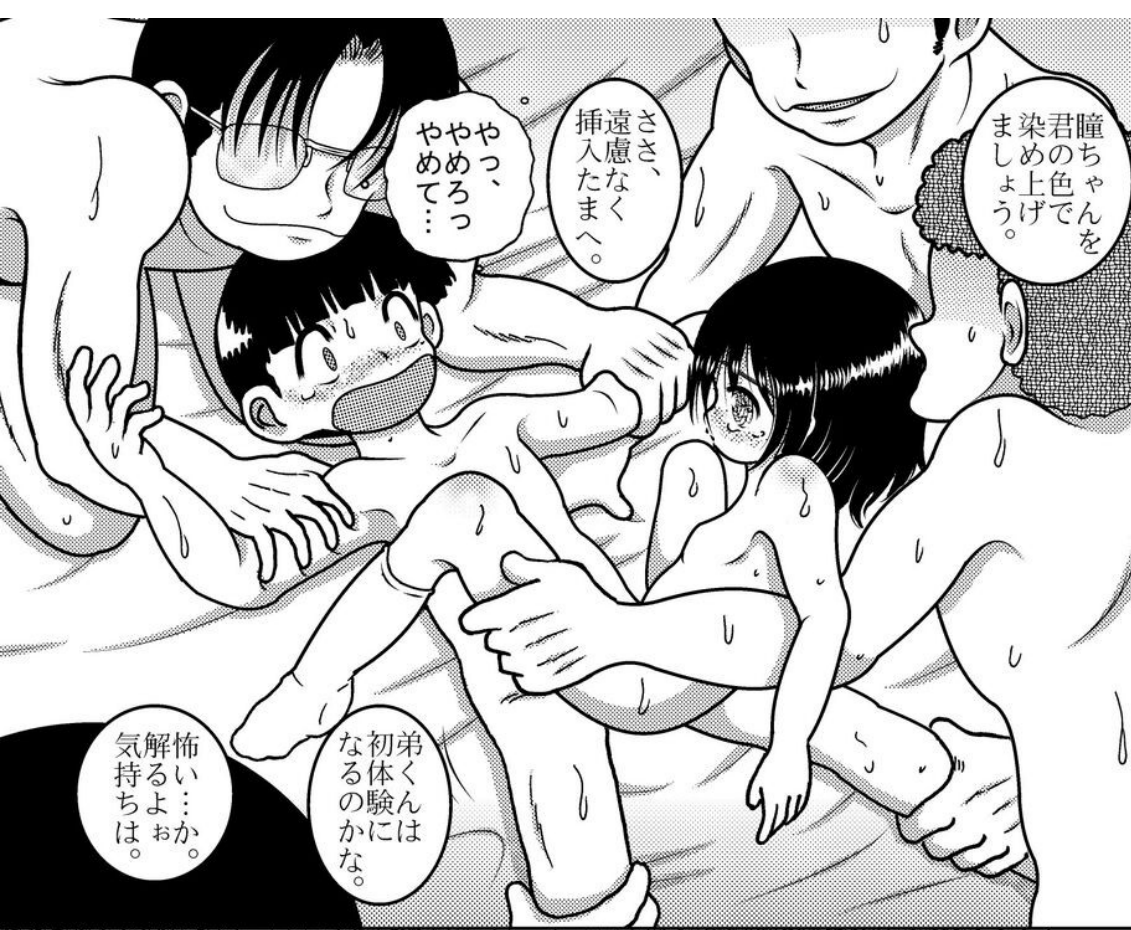
この際、弟くんに見せてやる。

腫ちゃんの一箇所がエッチな男をさ。



……あ??





瞳ちゃんを染めよう。染め上げよう。

ささ、遠慮なく挿入たまへ。

やっ、やめろっやめろっ...

答は簡単だ。

他の男に染められたら

もう一度自分の色で塗り直してやればいい。

コトで...

怖いよ...か。解るよ。おかしな気持ちは。

弟くんには初体験かな。



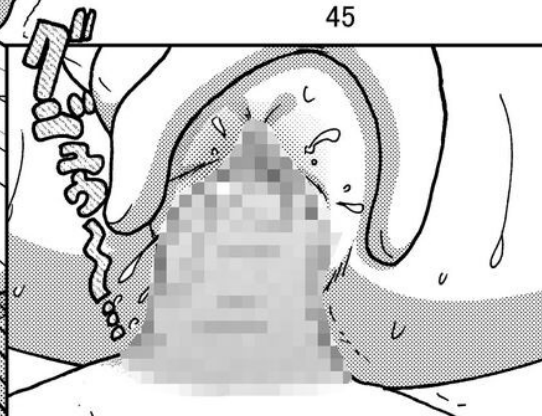
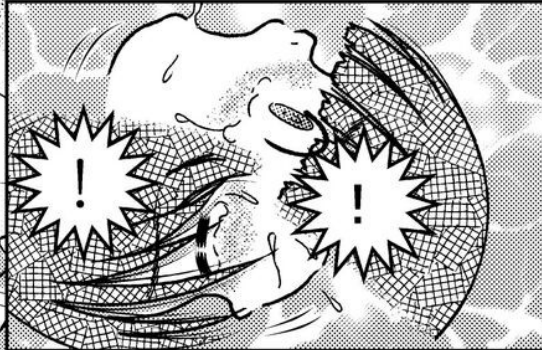
最初は皆怖いモノ。

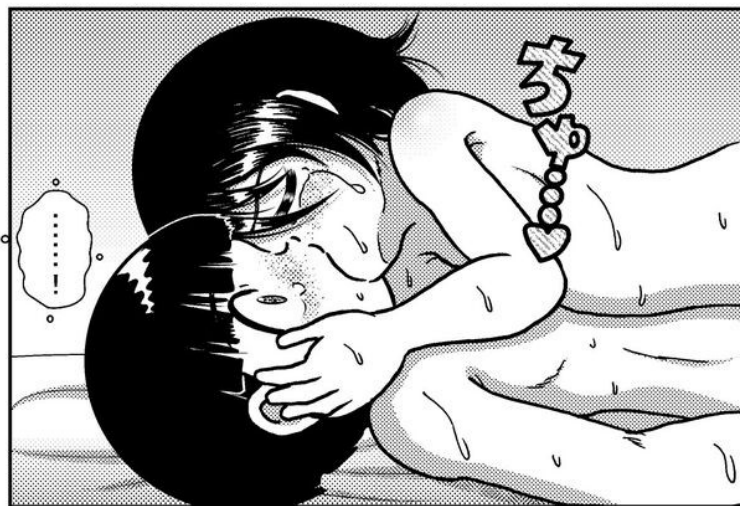
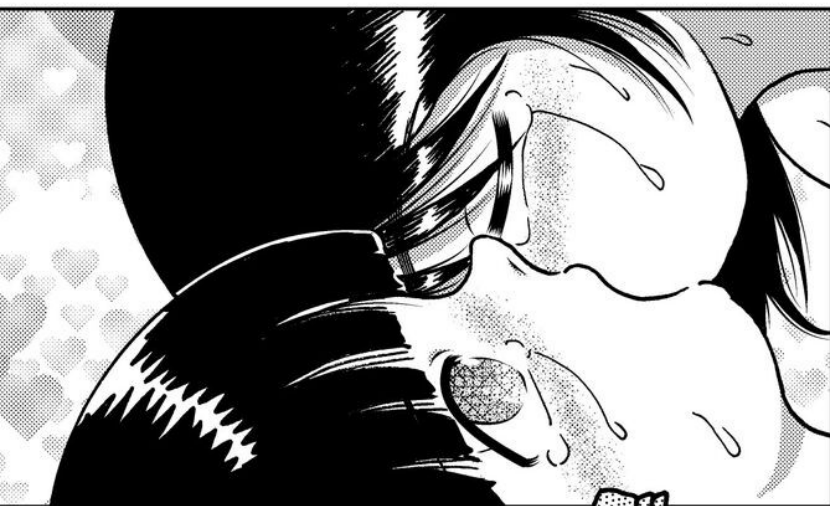
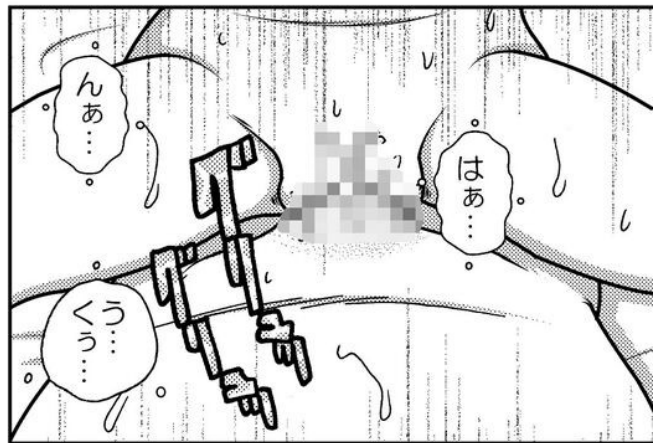
さあ、新天地へ旅立！若人！

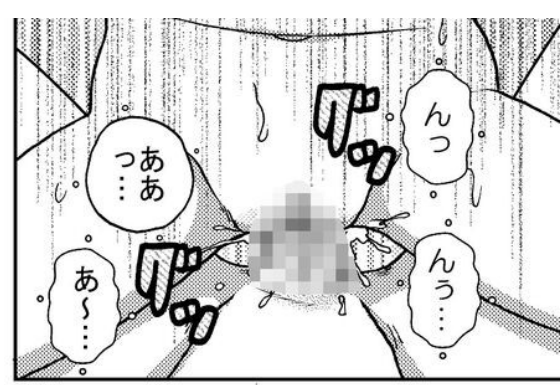
あ...あ...あ...あ...!

あ...あ...あ...

うあああ...あああ...!!









こんなの
純愛の交尾
見せられ
たらさあ、



こっちも
負けない
ならなあ



純愛の次は
再び参りましょ

大人チ●ポ
再び参上

あ…っ



いやあ、
お見事
お見事。

まさに
相思相愛
至福の結合。

拙くも純粹
かつ健気で
いやらしさが
倍増だわ。

見てるが
コッちが
照れちが
まった。

ええモン
見たわあ。



……



折角彼氏に
染め貰った
のにゴメン

まあ、また
直ちで貰った
て直ちで貰った



入り
ますよ。

……



あ！



あれ。



あらっ

ふん



がこ堪
っのら
…征
…服
感

おおっ
おおっ

おい
…



弟の不始末は
兄の私が
諫めます。

まあまあ
不躰を
お許し
下さい。

このコヤロ
何てが
だっやん



もう
やめる！

腫を
それ以上
苛めるな！



慎
まね
ば

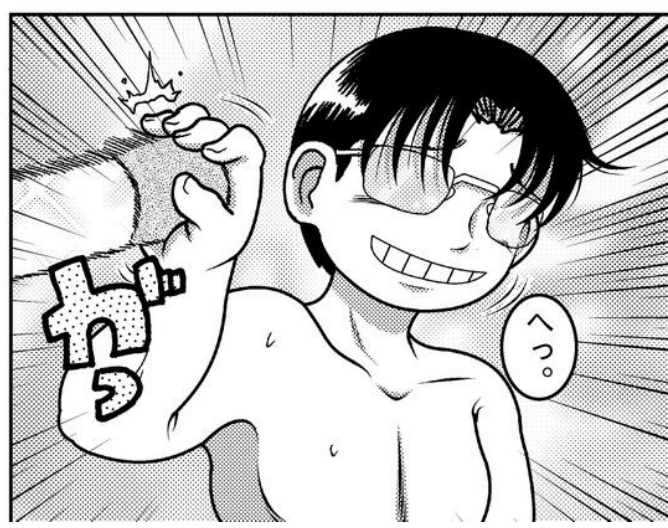


でイカ
人様
によ

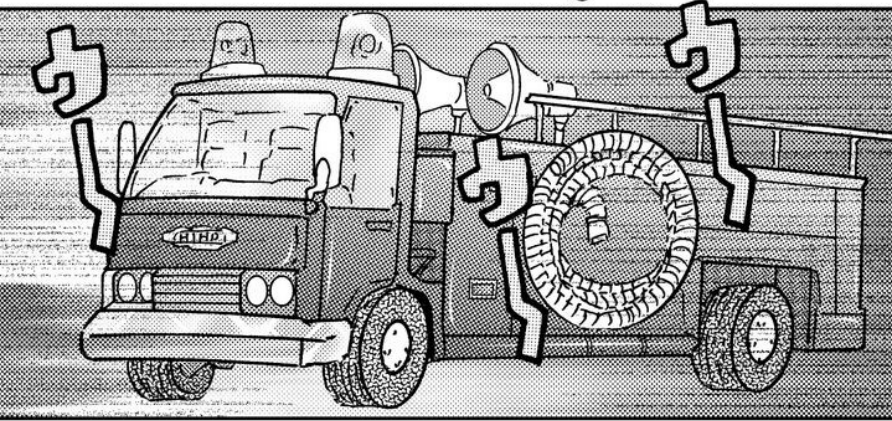
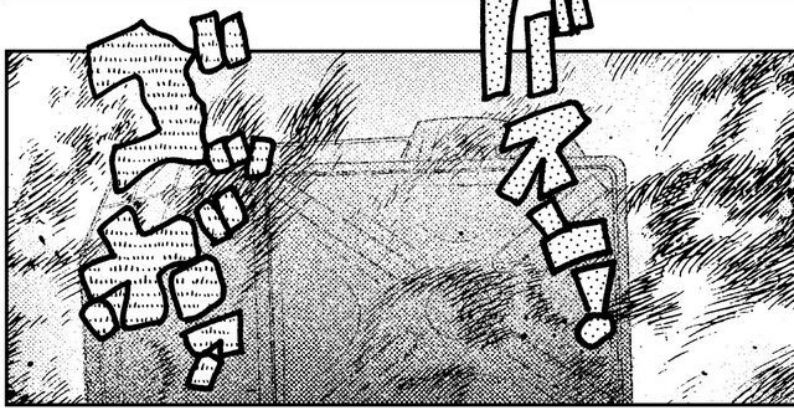
棒で殴り
かかるような
野蛮な真似は



くつ、
あつな
来るな



へっ。



一年が過ぎていた...

あの事件と火災から

そして今日...



ここに瞳が居る...

養護施設がほがらか学園...

住所も同じ、施設の外観もパンフと同じだ。



だよな。

...



ボクの家は崩壊した。

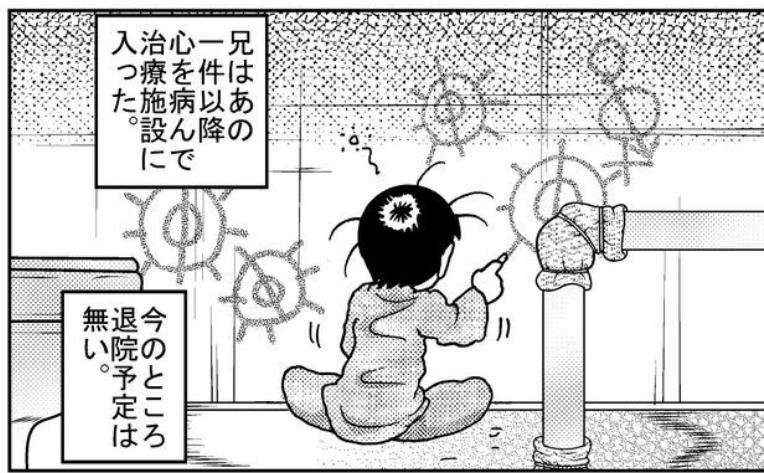
あの事件以降...



瞳の兄を壊されたが、瞳はみられたが故に...

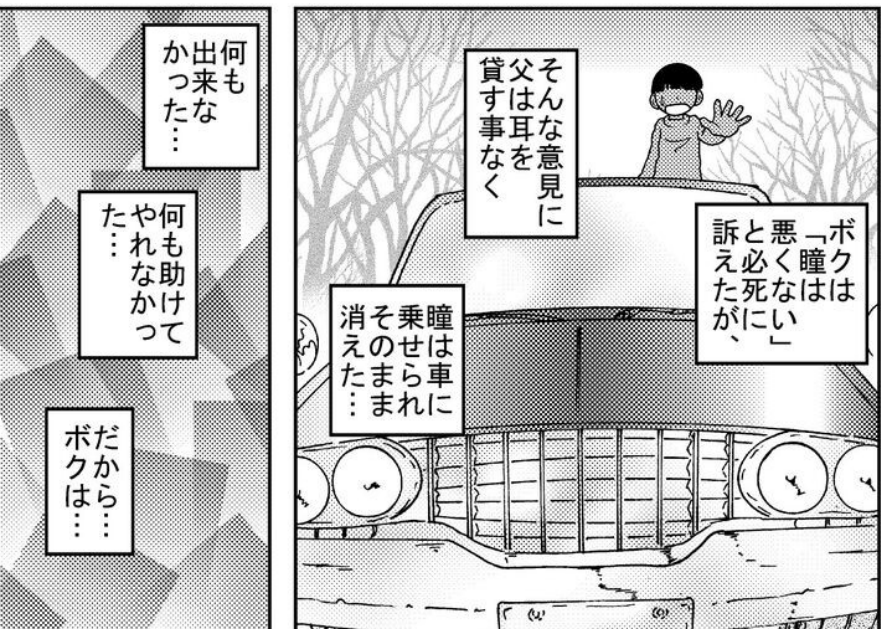
養護施設に預けられた事。

兄は父にとつて期待の息子だった。



兄はあの降心事件を以て入院治療施設に入った。

今のところ退院予定はない。



何も出来なかつた...

何も助けがなかつた...

だからボクは...

そんな意見に父は耳を貸さず...

「ボクは悪くない、瞳は死ななかつたが、訴えたい」

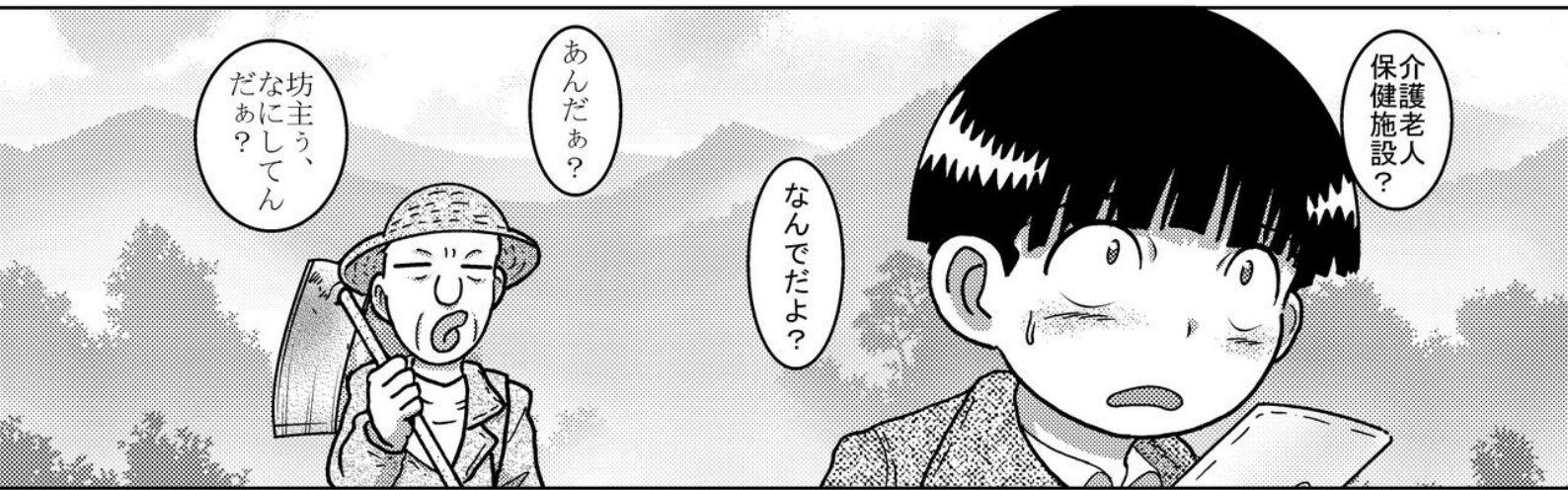
瞳は乗せられた車に消えた...



瞳は何も被害者ではないのに...

父さんはいやせん、結局瞳を閉じました。

「ああ...」
「ああ...」
「ああ...」
瞳は去った。





おじさんの話によると、



瞳が施設に入所した当日…



…一年前…
…つまり…



その様子はその狂宴が凄まじい。

例えるならそれは、

皆、理性が根底から吹っ飛んだよう…

まさに、発狂したのでは…



施設の日入所した暴行を性的に

それも一人や二人では無くほぼ全ての男性職員が…



瞳に手を
出した勢いで
他の入所者の
娘にも手を
出し…

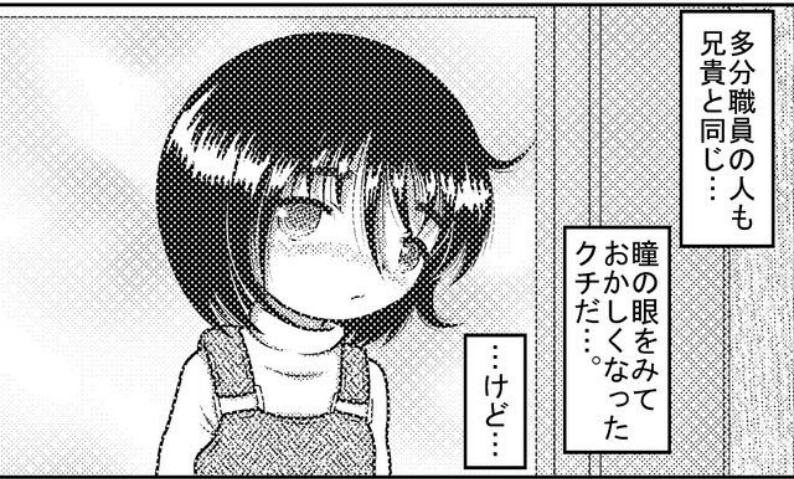
結果、事件が
発覚し、
関わった
職員は全員
逮捕。

施設は組織解体
されて、今の
老人介護施設に
変わったという。

ニュース…
見てなかった
から知らな
かったよ
そんな事件…

おあ。
侍を
のび。
帰ろっか
のび。

Gau
Gau



多分職員の人も
兄貴と同じ…

瞳の眼をみてた
おかしくなつた
クチだ…

…けど…



被害者の当然
名前はされ
報道され
ないけれど、

…間違い
ない。
瞳だ。



瞳自身は…

相手を
惑わそう…
とか、
狂わそう…
とか、

そんな意識は
一切ないんだ
…よなあ。



瞳の時折見せる
「ああ、またか」
の顔の意味が
解った気がする。

あいつは
ずっと同じ
状況を見て
来たんだ。

どこに行こうか
誰に会おうか
皆、結果は同じ
…それ、何度
繰り返して
から…



周囲の瞳人
に眼を
見勝て…

狂勝つて…

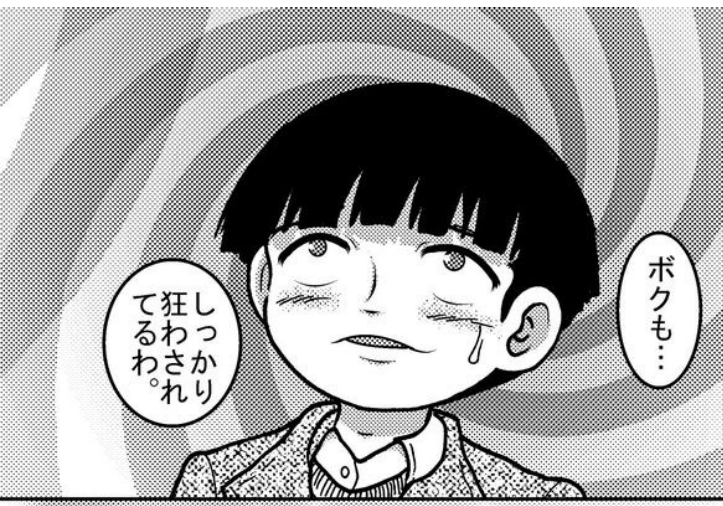
勝手に
暴走し
てる…



魔性の眼…
な多分…
間違いない
だろなあ。

けど、瞳自身に
何が出来る
うんだ？

何も出来
ないし、
誰も何も
しようが
ない…



て狂っ
わさか
れ

ボクも…

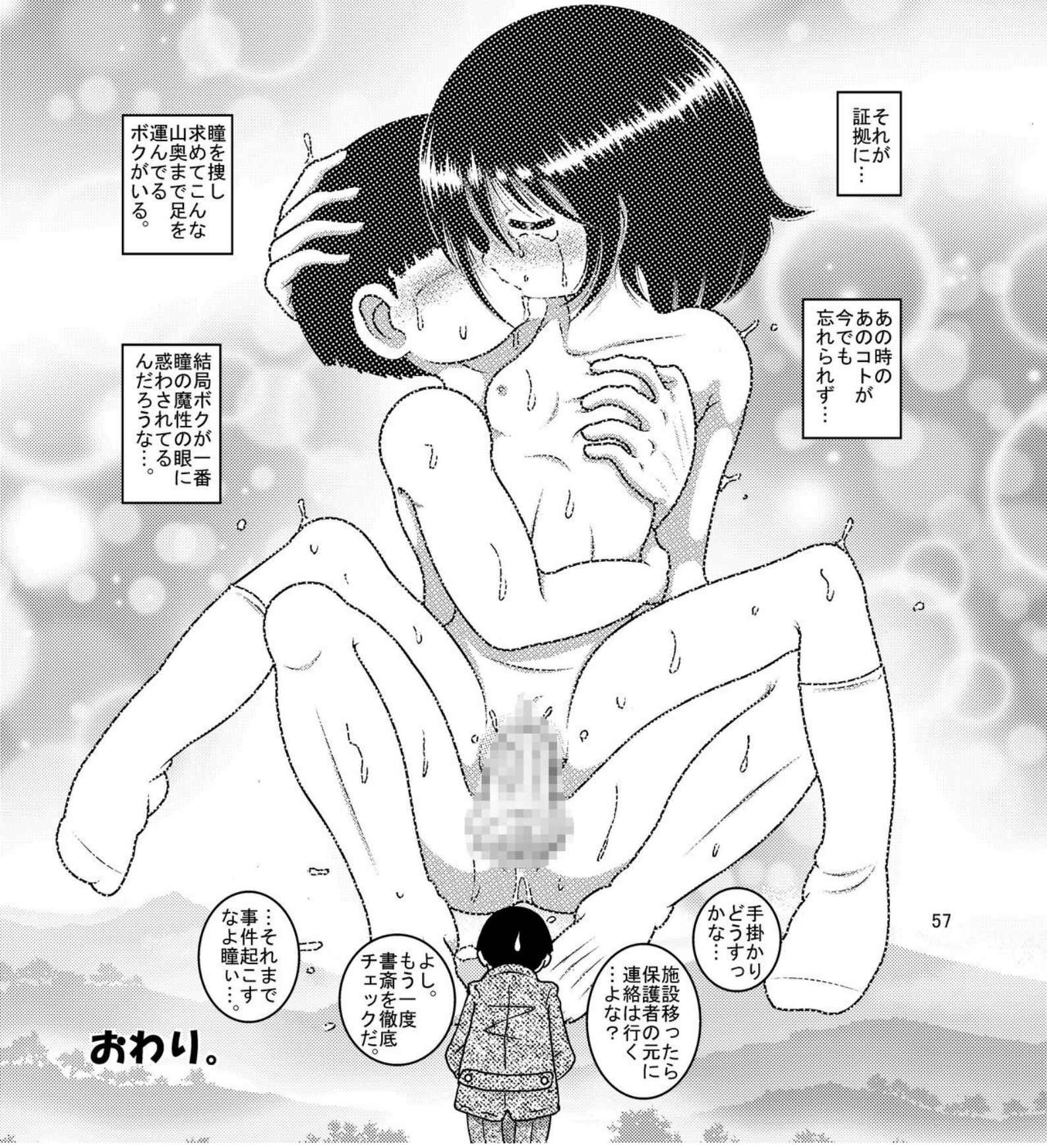


…いや、



でも、
兄貴や職員は
イカれたのに

ボクは
なんとも無い
………



瞳を捜し
求めてこん
な奥まで足
を運んでい
る。

それが
証に…

結局ボクが
一番腫れ
性の眼に
さされてる
んだろ…

あの時の
コトが
今でも
忘れられ
ず…

…それまで
事件起こす
なよ腫い…

よし。
もう一度
書齋を徹底
チエックだ。

施設移ったら
保護者の元
に連絡は行
くよな？

手掛かり
どうすり
かな…

おわり。

今回はマジでギリでした。10月のコミ1終了直後から作業に取り掛かったものの、
 久々の60ページという事もあってか、作業はなかなか進まず、結局当初のメ切には
 間に合いませんでした…。久し振りにカラー表紙やりたかったんだけどね…。
 結局、完バケにして入稿し終えたのはメ切当日。滑り込みってヤツ。最後の二日は久々の完徹。
 作業日数は60日と、結構余裕もって早めに始めたんですが、ページが多いからなのか作業速度が
 落ちてるのか…？それは神の味噌汁、ということで。

今回の漫画について。実はヒントになった元ネタ、
 古い漫画のマニアの方ならお解かりかと思いますが
 池上遼一・平井和正版の『スパイダーマン』なんです。
 その中の「金色の目の魔女」という話
 (のちに平井和正が単独の小説「魔女の標的」として
 セルフリメイクしています)が今回の漫画のヒントに
 なっています。金色~のほうは突如転任してきた女教師の、
 金色の眼をみた学生が暴徒と化すお話なんですが、
 成人向ネタでこれをヒントになにか出来ないかしら？と
 考えて作ったのが今回の漫画です。
 魔眼属性というキャラはRPGモノでも結構あって、
 昨今珍しくないのですが、50年前に既に魔眼キャラを
 漫画でやってた『スパイダーマン』恐るべし。
 で、魔眼をどう画で表現したものか…結構悩みました。
 当初はオッドアイにしようか、ネカボシ反転の眼にしようか、
 とかいろいろ試行錯誤したのですが、結局グルグル巻きの眼に。
 「いや、人を惑わすような眼は渦巻きてしょ」
 という昭和丸出しの感性で。平成も終わるこの御時勢になにを時代錯誤な。
 とはいえ眼の一個一個に渦巻きを描いていくのは結構手間でした。
 もうこういう眼は描きたくないわー。
 あと、女の子に殆どセリフらしいセリフを今回言わせてません。
 得体の知れない魔性のキャラなら、
 口軽くペラペラ喋るのはちと違うかなあと考えて。けど通常時なら
 イイのですが、発電中ですら大声で喘ぐことも
 設定的に制限されてしまったため、セリフ回しにメチャクチャ
 難儀しました。難しい娘を出してしまったなあとつくづく痛感。
 次回はもっと単純なキャラやりたい。

次回は…今終わったばかりで考えたくありませんが、春かな？
 また次回の新刊にてお会い出来れば幸いです。
 それではそれでは。

蠱惑甘柑

発行日 2018・12・31
 (コミックマーケット95)
 発行 まるちびたみん
 (MULTIVITAMIN)
 著者 蛸公方
 印刷 (株)BRO, S
 連絡先
 ホームページ まるびーほくす
<http://mvunit.web.fc2.com/>

(pixiv)
 (id) 2852316

(twitter)
<https://twitter.com/takokuboh>

メール
mvunit77@gmail.com

- ※ 本書に描かれていることは
 全てフィクションです。
 実在の人物・団体とは一切関係ありません。
- ※ 本書は日本国内でのみ閲覧可能な書物です。
 国外に持ち出でのトラブルについては
 一切の責任を負いかねます。
- ※ 本書は犯罪の推奨・
 助長目的で描かれたものではありません。
- ※ 著者の許可無く無断複製・転載・アップロード・
 インターネットでの公開・掲載を禁じます。

济感か普そ
 むわけ段つ
 んせてグか。
 じゃればサ
 やにばサン
 人
 を
 ない
 ?
 して、
 だ何私を提
 は案

あやがき。

